

平成26年12月
監 査 室

独立行政法人科学技術振興機構 平成26年度 第2回契約監視委員会 議事要旨

開催日時：平成26年12月12日（金）15:00～17:00

開催場所：科学技術振興機構 東京本部 10階 役員会議室

出席者：青山委員、井上委員、萩原委員、服部委員、柳沢委員、山口委員
（欠席委員：互井委員）

説明者：契約室調達契約グループ調査役、契約調整グループ副調査役及び調達要求部署
担当者

○契約監視委員会規則第6条第2項の規定による構成委員の2分の1以上（7名中6名）
の出席を得ており、本委員会は成立していることを確認した。

【議事内容】

1. JSTの契約状況（平成26年度(10月契約分まで)）【契約室からの報告事項】

契約室契約調整グループ副調査役から平成26年度の契約状況について、以下の報告が
あった。

①競争性の無い随意契約について

土地建物賃貸借等、真にやむをえないもののみ随意契約としている。平成26年度
は、特殊事情による競争性の無い随意契約はない。

②1者応札・応募について

JSTにおいては最先端の研究を行っているため、専門的・先端的な機器の調達
が多いため、また、既存のデータ及びシステムとの継続性・親和性を条件とする
調達があることなどが理由である。

平成21年度より引き続き1者応札改善のための取組みを実施している。

2. 自己点検結果について【契約室からの報告事項】

契約室契約調整グループ副調査役から平成26年度(10月契約分まで)の自己点検結果に
ついて、以下の報告があった。

①競争性の無い随意契約の状況

平成26年10月末時点では、事務所賃貸借契約の年度更新（4/1付）に係る契約が、
件数では約18%、金額では約65%を占めている。

建物維持管理等に係る契約は、建物管理や清掃に係る契約を年度当初から行う関係
上、事務所賃貸借契約に次いで多くを占めている。

②1 者応札・応募の状況

平成 26 年 10 月末時点の 1 者応札率 50. 3%

③自己点検結果

・競争性の無い随意契約

自己点検の結果、「競争性の無い随意契約」は、真にやむをえないものに限られており、契約価格も妥当である。

・1 者応札・応募

自己点検の結果、仕様条件、競争参加資格、公告期間、業務準備等の期間について問題があるものは見られなかった。

また、契約情報の周知、事前説明の機会確保、可能な範囲での業者等からの聴き取りなど 1 者応札改善の取組みとして現在対応可能な方策は全て実施しており、適正である。

・関係法人等のみによる応札・応募

平成 26 年 10 月末までの契約実績においては、関係法人等のみによる応札・応募の案件はなかった。

3. 個別契約案件の審議について【審議事項】

平成 26 年度(10 月契約分まで)の契約 5 件を対象として個別案件ごとに審議を行った。なお、対象としたこれらの個別案件は、事前に各委員の要望、及び以下の条件を考慮して選定したものである。

平成 26 年度第 1 回契約監視委員会(平成 26 年 7 月 30 日)審議後の契約競争性の無い随意契約、1 者応札・応募の契約のうち

- ・最近の委員会で審議された契約でないこと
- ・契約金額が大きい案件
- ・JST の事業に特徴的な契約

審議は、各案件について契約担当及び調達要求部署から公告期間、参加資格、調達仕様内容等について説明の後、各委員による質疑を行うことにより実施した。

各委員より、1 者応札となった理由、契約の相手方の妥当性などに関する質問や入札辞退者から聴取した辞退理由の記録方法等について意見があったが、契約の妥当性等に関しては特段の問題点等の指摘は無かった。

－個別審議案件－

- ①電界放出形走査電子顕微鏡システムの購入
- ②平成 26 年度技術移転に係わる目利き人材育成プログラム運営(研究支援マネジメントコース)
- ③政策のための科学における ICT 分野政策オプションの調査研究
- ④中国文献抄録・索引作成(理工系)
- ⑤水冷モジュールチラー冷凍機の交換工事

【配布資料】

- 資料 1 契約監視委員会・委員名簿
- 資料 2-1 契約状況・自己点検結果（平成26年度第2回分）
- 資料 2-2 点検項目表（自主点検・チェック用）
- 資料 3-1 審議候補契約案件一覧（平成26年度第2四半期契約、一者応札・応募）
- 資料 3-2 審議候補契約案件一覧（平成26年度第2四半期契約、競争性のない随意契約）
- 資料 4-1 個別契約案件①
- 資料 4-2 個別契約案件②
- 資料 4-3 個別契約案件③
- 資料 4-4 個別契約案件④
- 資料 4-5 個別契約案件⑤
- 資料 5 一者応札・応募事案フォローアップ票